

看護部通信

#IOSPY

2017.4.1発行 第48号

ホスピグループ腎透析事業部看護部

ごあいさつ

ホスピグループ腎透析事業部
統括看護部長 岡山 ミサ子

新入職された看護師たちと新たなスタートを迎えることできて感謝しています。看護現場で患者・家族のケアや支援をしながら 新入職の看護師を迎え入れる先輩看護師の皆様ご支援よろしくお願ひします。いのちのケアのできる看護師に育ちあいたいものです。

新生会第一病院
看護部長 宮下 美子

今年も新しい仲間が増えて嬉しく思います。新生会第一病院では、今年度は新築移転に向けて慌ただしい一年になります。それは希望に向かう一年でもあります。サテライトの支援もいただき、実践をしながら、共に準備を進めていきましょう。

<2017年度のキーワード>

1. いのちのケアの実践

- ①患者・家族のケアと支援(事例検討会)
- ② 看護師のワークエンゲージメント
(セルフケア・ラインケア・勤務環境改善)
- ③ガイドラインにそった医療安全

2. 主体的・協働的な学び

- ・看護師の主体性を尊重した育成
- ・共に考え、つなぎ、広げる、対話の場づくり

3. 連携拡充

- ・新病院へ移転に伴う連携上の課題
- ・グループ全体の機能活用・強化
- ・グループ外との連携



2016年度 新人育成のためのスタッフ学習会

外来・在宅透析教育センター師長:三輪八千代

新生会看護部では新人育成について先輩スタッフが学び、新人を迎える準備をしています。今年はゴールを『新人を迎える先輩同士で語り合うことで、“癒しあう”“励まし合う”“認め合う”』として、学習会を3月3日、6日、10日の3日間に分けて行いました。参加者みんなで語り合う対話の場づくりで会を進めていきました。場所も話しやすい雰囲気を考え “中山家”で行い、ひな人形を飾りアットホームな学習会となりました。

ワーク1: 新人の指導で困っていること

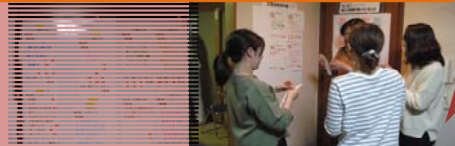


どこまで理解できているのか分からない

ジェネレーションギャップ!

ワーク2: にもかかわらず...

困ったことがあるけれど私はこんな事を頑張ってます。



笑顔で接するようにしています

何事も根気強く粘り強くあきらめず

お互いに “いいねシール” を貼って認め合いました。

ワーク3: 新人指導のコツ、工夫していること

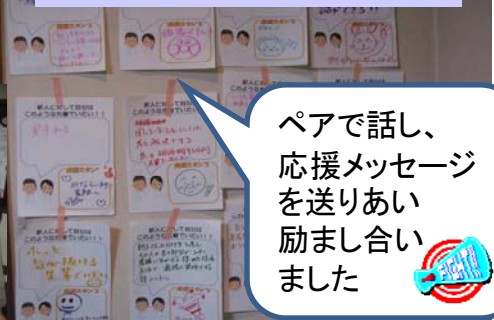


- ・一緒に考える
- ・新人の個性にあわせて

リラックスタイムで肩の力を抜き <癒しあい>



ワーク4: こんな先輩でいたい



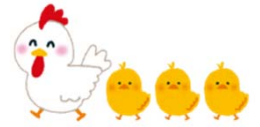
ペアで話し、応援メッセージを送りあい励まし合いました

《感想》

- ・みんな同じことを思っているのだなと安心した。
- ・他部署の方と意見交換でき、これから迎える新人さんに対しどのように向き合ったらいいかヒントになった。
- ・頑張りやほめたり、認めることが大事なんだなと学習会を通して感じました。

働きやすい職場作りへの取り組み！(パート3)

働きやすい職場作りへの取り組み



平針記念クリニック

平針記念クリニック: 牧野

平針記念クリニックは、企業主導型保育事業の助成を受け、平成29年4月3日より敷地内に新しい託児所『くみナーサリールーム』がオープンします。写真のように保育に適した環境で、職員が安心して子供を預ける事ができます。今までと同様に、0歳児～小学6年生までが対象で、病児保育・職員の休日でも利用できます。その上、今回から昼食・夕食も調理師さんの手作りのものが用意してもらえます。職員の育児と就労を支援すると共に、より働きやすい職場環境になると思います。

乳児室



保育室



外観



小児トイレ



調理室



看護師交流会を行って

東海・東海知多クリニック

東海・東海知多クリニック: 中尾



3月21日に2年以下の経験の浅い看護師を対象にした看護師交流会を行いました。2施設4部署から、計6名の参加がありました。

【目的】

入職2年以下のスタッフを対象に交流会を行い、個々の経験から思いを共有し、お互いが育ちあう場とする。

【内容】

- ①アイスブレイク
- ②グループワーク「透析看護に携わり思ったこと」
- ③皆さんからの感想

- ・同じ施設でも、フロアが違っていると話す機会がないので、このような場を設けてもらえてよかった。
- ・この次の交流会が楽しみです。

参加者の皆さんから活発な意見交換



新生会附属診療所の役割とあしたの丘との連携をご紹介します。

臨床工学部 科長:本村和彦

Q:どこにありますか?

A:名古屋市天白区八幡山746-1 障害者支援施設 あしたの丘 2階に新生会附属診療所があります。

Q:新生会附属診療所の特徴は?

A:ベッド数20床、看護師2名、CE2名、補助者2名、医療事務1名で透析治療と内科診療を行っております。また、あしたの丘と新生会附属診療所が開設当初は、「全国で初めて血液透析を受けている方で生活介護も必要な重度の方を受け入れる施設」として知られていました。

Q:主な対象は?

A:手や足がない、機能しないなどの肢体不自由、脳性麻痺や視覚・聴覚障害、先天的障害や知的障害等の方が主な対象となっています。そのため、新生会附属診療所では患者さん、あしたの丘では利用者さんとなり、双方向で連携して患者(利用者)さんのケアを行っております。

Q:透析患者さんであしたの丘に入所したい場合は?

A:「障害者支援区分4以上の認定・支給決定(生活介護、施設入所支援)を受けていて①身体障害者手帳を持っている ②安定した透析治療ができる ③病状が安定しており夜間帯の医療行為が不用な方」の条件が該当する方となっています。詳しくは、あしたの丘(TEL 052-836-6001)に連絡か、ソーシャルワーカーへご相談して下さい。



新生会附属診療所

私のおすすめアイテム

今私が注目している書籍、コミック、映画、スポットなど皆さんへお勧めしたいモノ/ヤコトをご紹介します。



この本は、アドラーの思想を、哲人と青年との対話形式の物語となっているので、とても分かりやすい内容になっています。アドラーとは、フロイト、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称されているそうですが、正直なところ私は知りませんでした。しかし、この本を読んで、「人のすべての悩みは、対人関係の悩みである」「人は今この瞬間から変われるし、幸福になることができる」と言われるように、とても楽な気持ちになりました。そのほかにも、色々な思想が具体的に書かれていますので、一度是非読んでみてください。こんな風な考え方をすればいいんだと思えるような思想に出会えると思います。

東海クリニック 小塚めぐみ